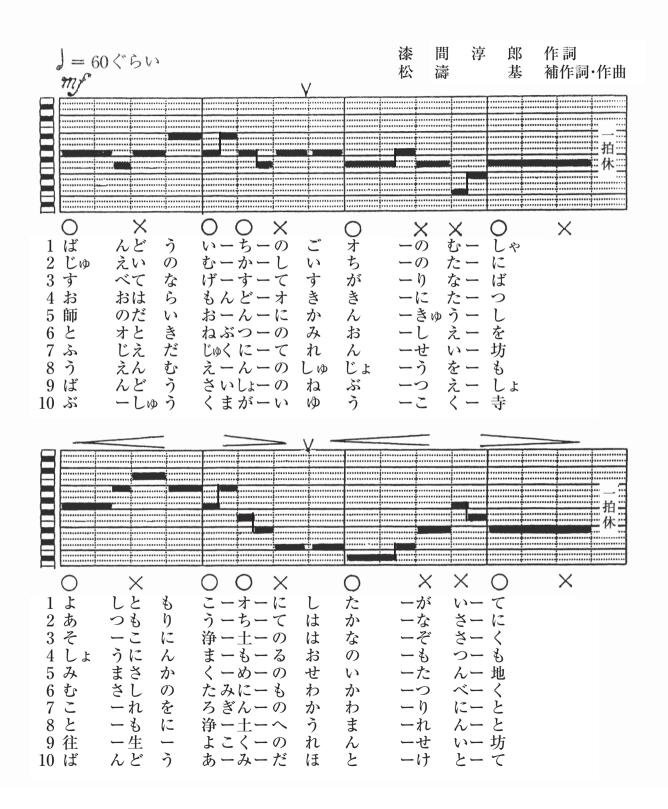
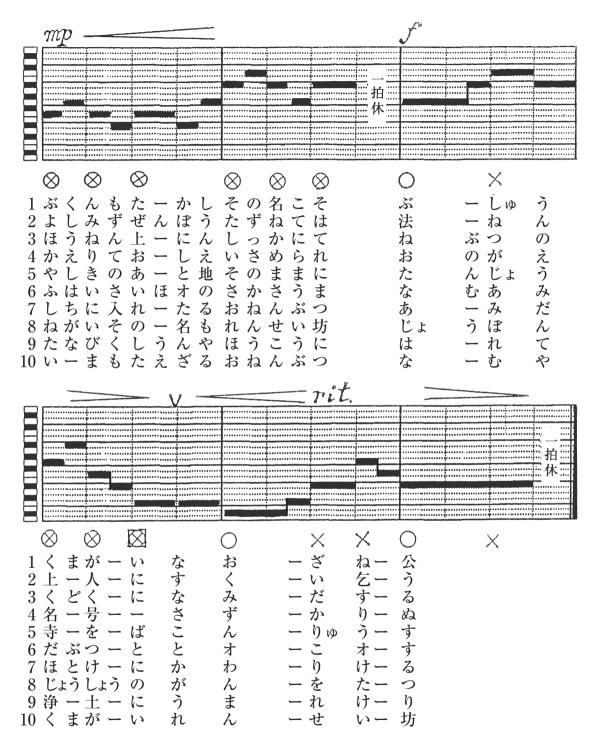
## 蓮生法師御和讃





(ポイント注意と歌詞は32ページ)

## ルルせいほっ し 蓮生法師和讃

 漆
 間
 淳
 郎
 作詞

 松
 濤
 基
 補作

- 2 寿永の昔 一の谷 敦盛討ちて 果敢なさに 吉水禅房 訪ねては 法然上人に 救い乞う
- 3 全て投げ捨て 離りなば そこに浄土の 花ぞ咲く
   法然上人 膝下にて 念仏の功徳に 涙する
- 4 大原問答 危機に立つ 上人守る 斧持つも かえりて教え 諫められ 「斧替名号」 授かりぬ
- 5 師の大恩に 感泣し 美作久米の 生誕地 屋敷の跡地 そのままに 誕生寺をば 建立す
- 7 藤枝宿にて 蓮生坊 これを路銀の 代わりにと 質に入れたる お念仏 阿弥陀ほとけに 化わりける
- 8 有縁無縁の 衆生をも 共に浄土へ 生まれんと 願いその名も 蓮生坊 上品上生の 願を立つ
- 9 坂東最初の 念仏道場 往生予告の 蓮生坊 たなびく紫雲や 芳香に 晴れて浄土に 生まれけり

## ポイント注意

● 2小節目、6小節目、12小節目の「強弱強」そして息継ぎ(ブレス)、続いて 4拍目のやさしい弱起となります。